

会議録 要旨

(1) 会議の名称	令和元年度 第3回 鯖江市空き家等対策協議会
(2) 開催日時	令和2年2月5日(水) 午前10時00分～午前10時30分
(3) 開催場所	鯖江市役所 4階会議室
(4) 出席委員氏名	野々村善民会長、佐藤孝一副会長、牧野百男委員（代理：中村副市長）、水津達夫委員、小嶋重治委員、武藤英樹委員、青木嘉子委員、平池美廣委員、奥田聖次委員、熊田富士子委員、根本楓委員
(5) 欠席委員氏名	榊原広輝委員、湧口節子委員
(6) 出席所管課職員氏名	藤田裕之 総務部長、長谷川伸英 都市整備部長、斎藤正史 防災危機管理課長、三原雅敏 建築営繕課長、今川泰夫 参事、横井直人 主査、川崎千寛 主査
(7) 会議議題	鯖江市空き家等対策計画（案）
(8) 会議資料の名称	・鯖江市空き家等対策計画（案） ・令和2年度鯖江市空き家等対策計画に基づく実施スケジュール（案）
(9) 会議の内容の要旨	・鯖江市空き家等対策計画（案）について説明 ・令和2年度鯖江市空き家等対策計画に基づく実施スケジュール（案）について説明
(10) 主な協議内容	<p>計画の修正点</p> <p>→前回（令和元年12月23日）の協議会で、全体の空き家数の把握について話が上がり、この内容については「第3章空き家等対策における施策／10 その他空き家等の対策の実施に関し必要な事項／（1）計画における目標値及び達成状況の評価」の中に追加した。全体空き家戸数については、人口減少、高齢化等の影響もあり、現状数以下へ抑制するといった目標値とする。</p> <p>→SDGs（持続可能な開発目標）に掲げる内容についても、No.11「住み続けられるまちづくりを」を中心としてアイコン等を追加する。</p> <p>次年度の空き家関連の予算はどうなっているのか。</p> <p>→空き家等実態調査については早急に取り掛かりたいので、3月補正予算にて要求している。立ち入り調査、補助申請調査については、専門家の調査が必要になるので、当初予算で要求している。併せて除却等に関しても、国、県の補助事業を活用した事業を当初予算で要求している。今後は議会で審議していく運びとなる。</p>

空き家等実態調査については、調査する人によって、見解が違ってくると思うが、今回は誰がどのようにしていたのか？また、今回は誰がどのようにする予定なのか。

→前回の調査は平成 28 年 2 月に実施し、調査業務を委託した先の建築の専門の方が調査した。この調査は、鯖江・丹生消防組合が火災観点から実施した鯖江市一円の調査を基に行った。今回も建築に関する専門の方に調査を委託し、県の調査基準に従って調査を実施したいと考えている。

特定空家等の認定が先なのか、危険を及ぼさないように是正するのが先なのか、こういった順序を踏んでいくのか。

→危険度の高い空き家に関しては、特定空家等に認定する行為が先行していく。そのうえで、所有者に対して、適正な管理の交渉を重ね、助言・指導と進めていく。